

## 令和 6 年度 小平市子ども家庭支援センター事業計画（案）

**子ども家庭支援センターとは**

地域において、福祉、保健・医療、教育等の各分野の関係機関と連携しながら、子どもと家庭に関する総合相談、児童虐待に関する相談、子育て中の親子の交流、子育て情報の提供などを行い、子育てを総合的に支援する。

**管理運営**

- 1 子ども家庭支援センター指定管理者：社会福祉法人 雲柱社
- 2 指定管理期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日（5 年間）  
（平成 16 年 1 月より指定管理受託開始）
- 3 設置場所：小平市小川東町 4-2-1 小平元気村おがわ東 2 階

**方針と展開**

- 1 子育て交流ひろば活動の充実
- 2 相談活動の充実
- 3 地域との協働
- 4 児童虐待防止機能の充実
- 5 ティーンズ相談室の充実

**事業の内容****1 子育て交流ひろば「おひさま」「はらっぱ」の運営**

乳幼児、保護者の安心できる居場所として、お互いの交流の促進を図れるよう配慮する。

0 歳さんあつまれなどの親子あそび、出張ひろばなどのプログラムの提供

**2 講座・行事（プログラム）の開催**

- (1) ふたごちゃんあつまれ（多胎応援団体こだついんとの協働）・みつごちゃんあつまれ
- (2) 子育て講座：「コミュニケーションと言葉の育ち」「2 人目の赤ちゃんがやってきた」ほか
- (3) ペアレント・トレーニング講座：「～ストップイライラ！どならない子育ての方法～」
- (4) FS プログラム：「赤ちゃんを創るわたしの家族」（5 か月までの第 1 子と母親のグループワーク）
- (5) パパとあそぼう 初めてののお父さん講座：第 1 子を迎えたお父さんのための講座
- (6) りぼんの会：身長・体重測定、助産師による相談、プレママ相談等
- (7) ひとり親のおやこの会（子どもを一人で育てている親御さんとお子さん対象のお楽しみ会）
- (8) 思春期講座：思春期・不登校などをテーマにしたミニ講座・交流会
- (9) 養育家庭対象のプログラム・障がいのあるきょうだいがいるこども向けプログラム【新規】

**3 利用者支援事業 【新規】**

ひろばに利用者支援専門員を配置し、敷居の低い相談窓口として、常に気軽に子育て相談ができるように努め、必要に応じて最適な相談場所に繋いでいく。

#### 4 相談事業

- (1) 面接相談・電話相談・メール相談・ひろば相談・出張ひろば相談
- (2) 虐待相談窓口
- (3) 専門相談（発達相談、心の育ち、言語、家族問題等）
- (4) 子育て世帯訪問支援事業（旧養育支援ヘルパー派遣事業）受付相談
- (5) ショートステイ事業受付相談
- (6) ティーンズ相談

#### 5 児童虐待防止事業

虐待通告・児童相談の窓口として、必要に応じて情報収集し、訪問・面接・サービス提供などを適宜行う。児童相談所や警察など関係機関との協力体制により、個々の問題に適切に対応するとともに、必要に応じてサポートプランを作成し、地域での継続的見守り支援を行う。

- (1) こどもサポーター活動
- (2) 食材配付事業
- (3) ヤングケアラーに関する普及啓発事業

#### 6 ティーンズ相談室事業

おおむね中学生から19歳までの子どもからの相談を受け、自立に向けた支援を行う。開所日は学校や家庭に居場所のない子ども達へ居場所を提供しつつ、他者と繋がり相談できる力を養えるよう支援する。保護者からの育成相談や学校からの不登校相談を受け、状況改善に向けて関係機関と連携や家庭訪問を行う。

#### 7 情報提供

- (1) センター便り『おひさま』を毎月発行
- (2) ホームページでの情報発信、メールでの問い合わせ
- (3) 地域子育て情報のチラシ・お便り等の配布、ポスター掲示

#### 8 ネットワーク強化

- (1) 要保護児童対策地域協議会における代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議の活用
- (2) 関係機関との連携
- (3) ファミリー・サポート・センターとの連携及び講師派遣
- (4) 関係機関との連絡会、学習会、事例検討会等参加（学校運営協議会、発達を支援する連絡会等）
- (5) 各種研修の開催（子育て世帯訪問支援事業研修、こどもサポーター養成講座、地域ボランティア研修、虐待対応に関する各関係機関への研修）
- (6) ヤングケアラーに関する普及啓発事業

## 9 地域組織化活動

- (1) 職場体験中学生・高校生等の受入
- (2) ボランティアの育成及び活動の場提供
- (3) 自主サークル（『まもらっこ』）への支援、近隣地域との協力
- (4) ヤングケアラーに関する普及啓発活動

## 10 子育て支援にかかるサービスの提供窓口、連絡調整

- (1) ショートステイ事業
- (2) 子育て世帯訪問支援事業（旧養育支援ヘルパー派遣事業）
- (3) こどもサポーター活動
- (4) 食材配付事業

## 11 モニタリングの実施

利用者アンケート（年1回：ひろば利用者100名対象）を実施し、結果を公表するとともに、改善を図る。意見箱を常設し、利用者の意見をより良い業務に反映させていく。

### 職員・研修体制

#### 職員能力・資質の向上のための取組み

子育て交流ひろば、ティーンズ相談室、要保護・要支援相談など職務により、必要な研修を積極的に受講し、職員の専門性の向上を図り、人材育成に努める。虐待対応部署においては、可能な限り一対一対応で新人教育を行う。また、個人情報保護・守秘義務の徹底に努めていく。

- (1) 法人内研修
- (2) 外部研修